

松嶋敦茂教授 略歴と業績

略 歴

1940（昭和15）年8月4日 東京都に生まれる

学 歴

- 1959（昭和34）年3月 東京都立新宿高等学校卒業
 1960（昭和35）年4月 早稲田大学第一政経学部経済学科入学
 1961（昭和36）年3月 同 上 中 退
 1961（昭和36）年4月 京都大学経済学部入学
 1965（昭和40）年3月 同 上 卒 業
 1965（昭和40）年4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
 1967（昭和42）年3月 同 上 修 了
 1967（昭和42）年4月 京都大学大学院経済学研究科博士課程入学
 1968（昭和43）年4月 同 上 中 退

職 歴

- 1968（昭和43）年4月 滋賀大学助手経済学部
 1971（昭和46）年4月 滋賀大学講師経済学部
 1974（昭和49）年1月 滋賀大学助教授経済学部
 1985（昭和60）年12月 滋賀大学教授経済学部
 1989（平成1）年5月29日 滋賀大学評議員（平成3年5月28日まで）

学 位

- 1986（昭和61）年7月28日 経済学博士（京都大学）

所属学会

経済学史学会

進化経済学会

フランス経済学会

賞 罰

1986（昭和61）年 第9回マルコ・ポーロ賞（『経済から社会へ——パレートの生涯と思想』みすず書房）

業 績 目 録

著 書

1. 『経済から社会へ——パレートの生涯と思想』 みすず書房 1985年8月
2. 『現代経済学史1870-1970』 名古屋大学出版会 1996年5月
3. 『功利主義は生き残るか：経済倫理学の構築に向けて』
勁草書房 2005年5月

論 文

1. プレオブラジェンスキーの「社会主義的原始蓄積」理論
経済論叢 第100巻第1号 1967年7月
2. ワルラス型均衡理論と資本蓄積 彦根論叢 第141号 1970年2月
3. 新しいレッセ・フェール
杉原・尾上・置塩 編 「経済像の歴史と現代」有斐閣 1970年9月
4. オーギュスト・ワルラスの経済学 彦根論叢 第155号 1972年4月
5. V・パレートの社会的効用の理論について
彦根論叢 第158・159号 1972年11月

6. V・パレートにおける経済学と社会学
季刊「社会思想」3巻2号 1973年9月
7. パレートの経済学と社会学
杉原・菱山 編 『セミナー経済学教室2』 1975年9月
8. 現代経済学史 『経済セミナー』 1975年9月
9. パレートとファシズム 彦根論叢 第175・176号 1975年11月
10. 一般均衡理論の生成(2)パレートの社会科学体系
杉原・鶴田・菱山 編 『限界革命の経済思想』有斐閣 1977年4月
11. 均衡理論の確立 杉原・古沢 編 『講座 経済学史V』同文館 1977年5月
12. V・パレートの分配理論
行沢・田中・平井・山口 編 『社会科学の方法と歴史』 ミネルヴァ書房 1978年5月
13. V・パレートの経済学方法論 彦根論叢 第194号 1979年2月
14. “Economics and Sociology in Pareto’s Thought”
Working Paper No. 2 1979年11月
15. パレートにおける「合理性」の意義 彦根論叢 第201号 1980年3月
16. 一般均衡理論の生成と展開
田中・山下 編 「テキストブック近代経済学史」有斐閣 1980年4月
17. パレートのマルクス経済学批判 彦根論叢 第213号 1982年3月
18. パレート経済学の展開 彦根論叢 第217号 1982年11月
19. 経済学史の効用 彦根論叢ガイダンス特集 第5号 1983年4月
20. 「科学史」としての経済学史 彦根論叢 第234・235号 1985年11月
21. 「正義原理」と市場システム観 滋賀大学研究叢書 第15号 1988年3月
22. 「極大満足説」と功利主義的経済学 彦根論叢 第257号 1989年6月
23. 功利主義と課税原則——エッジワースとヴィクセル
甲南経済学論集 第31巻4号 1991年3月
24. ミーゼスの「人間行為学」をめぐる彦根論叢 第273・274号 1991年12月

25. 功利主義と「近代経済学」

経済学史学会 編 『経済学史 課題と展望』 1992年11月

26. 効用の個人間比較をめぐって 経済学史学会年報 第31号 1993年11月

27. 方法論的個人主義の諸類型 彦根論叢 第285・286号 1993年11月

28. 経済学と時間 彦根論叢 第300号 1996年2月

29. 自由主義の基礎づけ—ワルラスとハイエクを中心として
田中真晴 編 名古屋大学出版会『自由主義経済思想の比較研究』 1997年10月

30. 規則・規範・合理性 彦根論叢 第311号 1998年2月

31. 合理性は道徳性をもたらすか？ 彦根論叢 第333号 2001年12月

32. 福祉・相互性・道徳性 彦根論叢 第340・341号 2003年3月

33. 規則論の展開 彦根論叢 第348号 2004年5月

研究ノート

1. 「資本」測定問題と労働価値説 彦根論叢 第131号 1968年9月

2. クラウディオ・ナポレオーニの「近代」経済学像
彦根論叢 第138号 1969年9月

書評

1. V・タラッシオ『経済学へのパレートの方法論的接近』
彦根論叢 第160号 1973年2月

その他

1. ワルラスとパレートの市民社会論 (p.119)
『経済思想の事典』有斐閣選書 1975年10月
2. パレートをもとめて
みすず 301号 1985年12月
3. パレートと「投票のパラドックス」
「木鐸」木鐸社No.38 1986年7月15日
4. パレートの功利主義論
月報 青木書店 1987年10月

5. スイスの小学校 「湖国と文化」'87冬 第38号 1987年1月
6. V. パレート (エコ・セミナー「世界の経済学者」)
【エコノミスト】 1993年9月14日
7. 書評「イデオロギーと神話」佐藤茂行著
【エコノミスト】 1994年4月12日
8. 書評「ケインズの哲学」伊藤邦武著 『学史学会年報』 2000年11月
9. 『経済思想史辞典』経済学史学会編パレート, ハーサーニ, 他 2000年6月